

1月21日 職業奉仕月間に因んで・職場例会 職業奉仕委員会・木野義明委員長他

今日は藤井克将支店長さんを始め山口銀行宇部支店の皆様にはお忙しい中、職場例会会場のお世話になりありがとうございます。今日は宇部銀行・本店の話をしてみたいと思います。山口銀行宇部支店は、まじめ川の手前、現在ヒストリア宇部の愛称で呼ばれる、市民の多目的ホール宇部銀行館の前進であります。宇部銀行は、1912年(明治45年)7月1日に設立され当時の石炭産業を基幹として急速に発展していきました。NHKのアサドラ「あさが来た」加野屋のあさが、炭鉱経営から銀行経営を始める当時と同時代のドラマです。しかし、宇部銀行が他の地域と違うのは、株主は全て宇部村および同一・経済圏に属していた藤山村の住民で、貸出金の内半分近くは炭鉱関係のものでありました。宇部村において地域経済を支える地元金融機関・創設の要望が高まったことを受け宇部共同義会を中心に渡辺祐策ら地元実業家が当時休眠状態であった広島県賀茂郡阿賀町(現・呉市)の株式会社矢部銀行の営業権を買い取り宇部銀行として設立しました。1944年(昭和19年)3月31日には、「一県・一行・主義」により当時、山口県内にあった宇部、大島、華浦、船城など百十の各行が合併して「山口銀行」が設立され「宇部銀行・本店」は「山口銀行・宇部支店」となった。2006年(平成18年)12月には「山口銀行・宇部支店」が新築移転した。当初は支店の移転後に山口銀行が建物を解体した上で宇部市に土地を引き渡す契約であったが、宇部発展の歴史に重要な役割を果たした建物、村野藤吾、設計の建物でもあり地元住民を中心に保存すべきとの声が高まり、2007年(平成19年)に藤田忠夫・宇部市長が、保存の方針を打ち出した。2009年(平成21年)5月1日には「旧・宇部・銀行・本店」として宇部市の景観・重要・建造物に指定された。2010年(平成22年)耐震改修及び増築部分の撤去工事、駐車場やエレベーター等の周辺・整備・工事が行われ9月25日に多目的ホールの宇部銀行館(愛称:ヒストリア宇部)として開館した。それ以前には、ここに中津瀬神社がありました、当時の井戸の跡があります。旧・宇部支店の屋上には中津瀬神社のお社がありましたが改修工事の際、相当、古くなっておりましたが中津瀬神社が修復し中津瀬神社の境内で、龍神社として祭られています。

職業奉仕月間に因んで職業奉仕と社会奉仕の違いを話してみます。まず、受益者が他人であれば社会奉仕に、受益者が自己であれば職業奉仕になります。医師や弁護士が無料診断・無料相談をする場合は社会奉仕になります。職業奉仕は自らの職業を通じて社会のニーズを満たせる努力をする自らの職業に品位と道德水準をたかめること。自らを取り巻く人達の模範となる。そして、その行動を、判断する基準がロータリーの行動基準でもある「四つのテスト」であります。社会のニーズを満たし実行努力するのが職業奉仕の基本であります。まさに本日の藤井克将講師の講演が職業奉仕の実践になり、今日話を聞いて我々も、しっかり儲けて職業奉仕をして行きたいと思えます。

会長の時間を終わります。ありがとうございました。